※令和４年度以降入学生用

学校番号	325

令和８年度　地域科

教科	地域	科目	ｱﾀﾞﾌﾟﾃｯﾄﾞｽﾎﾟｰﾂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・障がいのある人ない人、老若男女問すべての人が参加できるスポーツを考えよう。
・既存のスポーツ、パラスポーツを理解し実践しよう。
・さまざまな人の立場になってスポーツを考える思考力と実践力を身につけよう。

２　学習の到達目標

・**アダプテッドスポーツについての知識や考え方を理解し、**身体活動を行う際の各ルールや方法に対して知識及び技能の向上を目指す。
・**性別、体力，障がい等の有無などに関係なく誰もが親しめるスポーツに対して、**仲間との関係を正しく構築し、主体的・計画的に行なえる、思考力・判断力・表現力を養う。
・明るく豊かで活力ある生活を営み、**従来の体育の種目であっても誰もが親しむことができる運動へと創意工夫する態度を養えるようにしたり、新たな運動を創造する態度を養えるようにしたりする。生**涯を通してスポーツを行う為に学びに向かう力や他者と協同する人間力をつける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各種の運動の特性と基本的な技術やルールを理解して、プレイヤーとしての技能だけでなく、参加者の状況などを考慮し、ルールの変更やゲームの柔軟な運営ができるような知識技能を身に付けられるようにする。	同じ種目であっても、参加者が変わればやり方やルールが変わるので、柔軟な思考のもと、誰もが楽しめるような形を模索し判断するとともに、新しい形を他者に伝える力を身に付けられるようにする。	誰もが楽しめる環境を作るにあたり、仲間とともに協力することで主体的な行動や他者と上手にコミュニケーションをとる態度を養い、思いやりやリーダーシップ、チームワークの大切さを理解で１きるようにする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期		オリエンテーション 講義 各種種目紹介実践	a:ｱﾀﾞﾌﾟﾃｯﾄﾞｽﾎﾟｰﾂについて理解し、それに沿った考え方やルールの変更、ゲームの運営ができる。 b:様々な種目の基本的なルールを踏まえて、参加者の状況に合わせたルールややり方を考えようとする。 c:仲間とともに協力することで主体的な行動や他者と上手にコミュニケーションをとる態度を養い、思いやりやリーダーシップ、チームワークの大切さを理解できるようにする	筆記テスト 実技テスト	授業態度の観察 実技テスト 班ノートなど	授業態度の観察 班ノートなど
2		模擬授業	a:１学期に学習した内容を踏まえ、状況に合わせた種目の設定、ルールの変更、柔軟な運営の方法を考えられる。 b:設定した種目、やり方などを伝えるための手段や伝え方を吟味している。 c:仲間とともに協力することで主体的な行動や他者と上手にコミュニケーションをとる態度を養い、思いやりやリーダーシップ、チームワークの大切さを理解できるようにする	実技テスト	授業態度の観察 実技テスト 班ノートなど	授業態度の観察 班ノートなど

※令和４年度以降入学生用

3		外部との交流 特別支援学校との交流 出前授業	a:年間を通じて、学んだことを理解し、得た知識を活用した態度がとれる。 b:年間を通じて学んだことをもとに、自分のオリジナルの設定を考えられ、他者に伝えられる。 c:仲間とともに協力することで主体的な行動や他者と上手にコミュニケーションをとる態度を養い、思いやりやリーダーシップ、チームワークの大切さを理解できるようにする。	実技テスト	授業態度の観察 実技テスト 班ノートなど	授業態度の観察 班ノートなど

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度